

南相馬市鹿島区上真野地区（上真野まちづくり実行委員会） 概要

1 地区の概要

- 現在の南相馬市は、平成18年1月1日、旧小高町、旧鹿島町、旧原町市の1市2町が合併して誕生。総人口は71,022人（平成21年9月1日現在）。
- 対象である上真野地区は、旧鹿島町の中心地であるJR鹿島駅の北東に位置する。
- 東京からJR鹿島駅までは、約3時間。
- 上真野地区の人口は約3,500人、高齢化率は約35%。
- 南相馬市は相馬野馬追で全国的に有名。



地区周辺マップ 出典)南相馬市HPより

2 現状と課題

- 農業が基幹産業であり、**米作りが中心**。かつては、養蚕も主たる産業であったが現在は数軒ほど。米作りには自信があるが現時点では知名度は決して高くない。
- 温暖で雪もさほど降らない土地柄であり、特色がなく変化に乏しい。一方で、通年を通して活動が可能という点で、他の東北の地域より優位。
- 絶対的な観光資源がなく、都市住民の集客には現時点では**パワー（魅力＋アピール）不足**。
- 相馬野馬追の集客力は大きい**が、**宿泊施設が不足**しているため、相馬や仙台に客が流れる。
- 常磐自動車道が延伸され、平成23年にはいわき市方面から相馬まで、同26年にはさらに延伸され、仙台まで接続する。
- 上真野地区内に、**常磐道のSAが建設予定**である。また、南相馬市はこのSAに隣接する土地に**物販販売などの拠点施設を建設予定**である。

3 取り組みの現状

- 地区住民が主体となる上真野地区まちづくり委員会が活動主体。
- 昨年度は、地産地消をテーマに、子供たちに地元の米を食べてもらうイベント等を実施。
- 今年度は、地元のみならず広く人を集めることを目的に、**都市との交流をテーマ**に活動展開
- 市内には10数軒の農家民宿・農家レストランがある。農家民宿は、1泊2食付で6,500円。
- 東京都豊島区の千早小学校との交流実績があり、**子どもたちが毎年農業体験**等で当地区を訪れている。

4 今年度の検討手順

検討会議	検討内容 ※第1回は活動団体ヒアリング(2009/9/9実施)
第2回検討会議 2009.11.18	■観光・集客を軸とした地域づくりの専門家による講演 ■専門家を介した意見交換 ■空き家の活用、農家民宿への取り組み推進など方向性の共有
第3回検討会議 2009.12.13	■会津美里町関山地区村づくり実行委員会を視察 ■古民家改修の課題や、体験プログラム提供について意見交換 ■具体的な取り組みイメージの共有
第4回検討会議 2009.12.18	■地域活性化指針の取りまとめ ■次年度の行動目標の共有

5 活動主体が求める情報

- 農家民泊の成功事例(体制、施設、サービス内容、価格など)
- ブランド化の方法(地域ブランド、地域製品のブランド化)
- 【アドバイザー】
観光・集客による地域活性化に実績のあるアドバイザーを起用
- 【先進事例施設】
会津美里町関山地区村づくり実行委員会による、空き家を改修して体験・滞在施設として活用を検討している事例を視察

6 拠点施設の状況と活用可能性

◆活用可能な拠点施設「古民家」（現在3軒）



- 活用可能な3軒のうち、2軒は空き家
- 1軒は、家主が民泊・農家レストラン経営希望(写真:古民家)
- 3軒ともこれまでの活用実績はなし
※古民家の詳細は、別紙



課題として

- 宿泊事業を行うには、個室、トイレ等について**一定程度の改修**が必要の見込み
- 宿泊サービスの実績がない(**おもてなし力の向上**)

◆将来的に活用可能な施設



- SA建設予定
- 南相馬市物販等施設建設予定

7 地域活性化計画の概要

STEP.3 受け入れ体制の強化と都市住民集客による雇用創出・地域活性化

- 選考モデル地区の成果を受け、地区全体の取り組みへと発展
- 受け入れ体制強化による集客力の向上
- プロモーション積極展開

STEP.2 先行モデル家屋における農家民宿、貸別荘の事業実施

- 事業計画の策定と事業実施
- 課題の修正と事業計画の改訂
- 農家レストランの運営と特産品開発

STEP.1 古民家、空き家を短期体験の場、中長期滞在の場として利活用検討

- 古民家、空き家の改修
- 提供する体験プログラムの構築
- 体験を担う人材育成と地区全体の合意形成

●対外プロモーションの積極展開

●当面の課題●

- 農家民泊の実績を重ねつつ、おもてなしの心を地域で育むことが必須(ホスピタリティ向上を目指し、顧客起点のサービス提供)
- 農家民泊・農家レストランが可能な施設の確保、改修整備の必要性、体制強化